

看護職の実践能力・研究能力開発プログラム

2022 年度募集要項



四天王寺大学
四天王寺大学大学院
看護学部看護実践開発研究センター

目 次

I	四天王寺大学看護学部・看護実践開発研究センターについて	
	1. 設置目的と趣旨	2
	2. 本センターの機能	2
	3. 本センターの3事業	2
	4. 本センターが対象とする人材	3
	5. 本センターの概念図	3
II	2022年度 看護職の実践能力・研究能力開発プログラム	
	1. はじめに	4
	2. 目的	5
	3. コース概要	5
	4. 身につけることのできる知識・技術・能力	6
	5. 対象者	6
	6. 修了証交付・履修証明プログラム証明書交付	6
	7. 申込み	6
	8. 受講料・振込先	7
	9. 受講までの流れ	7
	10. 受講にあたっての注意事項	7
	11. 講師略歴（プログラム順）	8
	12. 開催場所	12
III	2022年度プログラム内容	13
IV	センター・外部連携～研修プログラム～	18

I 四天王寺大学看護学部・看護実践開発研究センターについて

1. 設置目的と趣旨

続く新型コロナウイルス感染症拡大予防への対応、超高齢社会の進展に伴い、五大疾病等（悪性腫瘍・脳血管疾患・心疾患・糖尿病・精神疾患）の慢性疾患や生活習慣病が増加し、看護職や医療職、コロナ感染に関する恐怖や不安が継続しています。令和2年度から令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大と感染者数の増加によって、医療体制や国民生活も急激に変化しました。人々の健康に関するこのような社会問題に対応するため、より高度で確実な知識と技術が提供できる看護職が必要とされています。今からそしてこれからの看護職には、疾病を有する人々自身のセルフケア能力を高め、患者をとりまく支援体制や社会の医療提供体制や制度にも精通することが求められます。そのためにも看護実践のエビデンスの構築や看護ケア方法論の開発が求められています。本センターは、医療における社会的問題に対処し、看護ケアの質の向上と医療提供体制の構築を目的とした教育を提供し、研究を実施して参ります。本センターの実践によって人々の健康維持・向上のみならず、看護職の人材育成と研究能力の向上を確実なものにしていきます。

2. 本センターの機能

- 1) 教育機能
- 2) 専門職支援機能
- 3) 研究機能

3. 本センターの3事業

本センターでは、目的ならびに果たす機能に基づき、下記3事業を行います。

1) 人材育成

(1) 看護職、高度実践看護職(Advanced Practice Nurse: APN)の実践能力開発と実践研究の支援

看護職や高度実践看護師としての直接ケア能力（特にセルフケア看護・PAS セルフケアセラピー (Psycho-analytic Systems Theory based Self-Care Therapy、PAS-SCT) を強化し、慢性疾患患者の地域生活を促進し、病院内外のチーム・組織へ介入し変化をおこすことのできるコンサルテーション能力を開発します。さらに発見型および仮説検証型事例研究の能力を育成することで実践能力をさらに強化するトレーニングを提供します。APNであるCNSや認定看護師等のフォローアップ研修の一つでもあります。

(2) シミュレーション教育が行える人材の育成

シミュレーション(SM)教育が看護教育等様々な教育場面で導入されてきています。しかし、シミュレーション教育を実施できる教育者が少なく、その育成が求められています。ここでは本学看護学部が有するシミュレーション教育環境を有効活用し、SM教育者の育成を行います。

2) キャリア開発サポート支援

専門学校等の卒業生や看護管理者が自信をもって大学院に就学し、キャリアパスを描けるようになるように支援を行うため、大学院受験が可能になります。

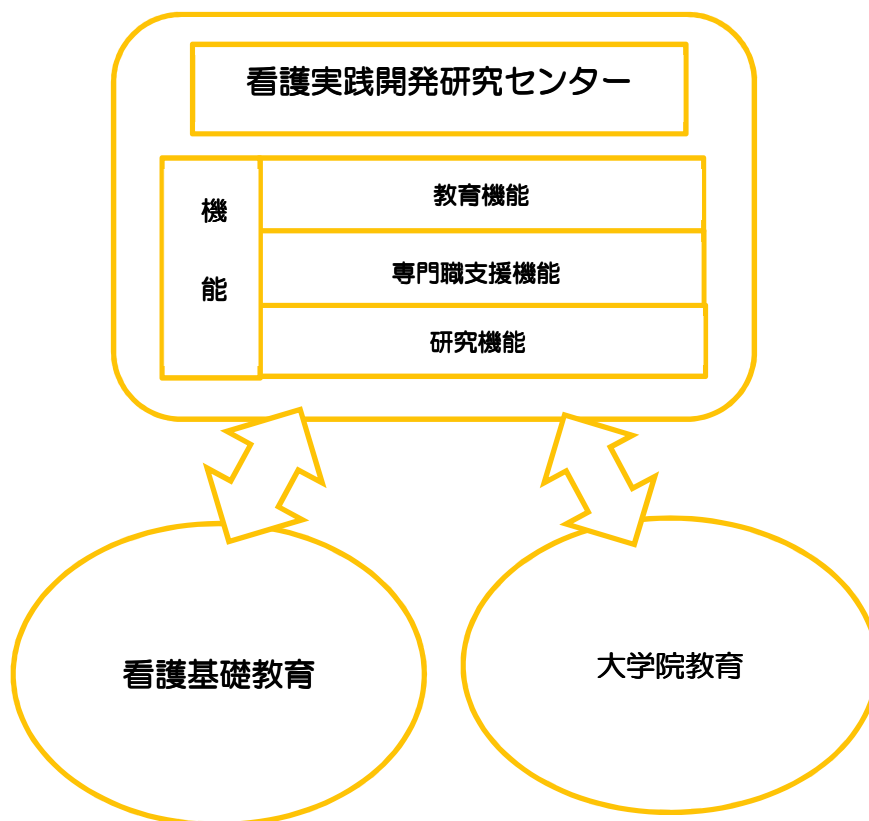
3) 研究実施と促進

国内外の大学の教員・実践者と共に共同研究を行い、高度実践看護促進のための看護介入技法の開発や災害に対する備えの促進に関する研究等を行います。

4. 本センターが対象とする人材

1. 看護職
 - ① 看護師等免許を持ち就労している人
 - ② 専門看護師(CNS)等を持ち就労している人
 - ③ 大学院生
 - ④ 大学院進学を考えている人
 - ⑤ 大学院修了後さらに実践・研究能力を開発したい人
2. 看護管理者
3. 現任教育、看護教育、看護研究に携わっている看護職

5. 本センターの概念図



Ⅱ 2022 年度 看護職の実践能力・研究能力開発プログラム

1. はじめに

四天王寺大学看護学部・看護実践開発研究センターでは、看護職（看護師・助産師・保健師）、看護管理者、高度実践看護師（CNS や Nurse Practitioner などの Advanced Practice Nurse、APN）の現任教育、大学院修了後の実践能力および研究能力育成のための人材育成トレーニングを実施しています。

看護職として中心的な行為である慢性疾患患者*1 への「最新セルフケアプログラム」は、看護職が患者の回復を早期に促し、状態悪化を予防し、患者の地域での社会生活を成功させるために必要な治療的看護ケアです。

さらに問題行動をくり返し対応が困難になっている対応困難患者*2 には「最新セルフケアプログラム」だけではなく、精神力動理論の PAS 理論（Psychoanalytic Systems Theory、PAS 理論、精神分析的システムズ理論）を用い、最新セルフケアプログラムを提供した後に、地域生活で課題となっているセルフケアに焦点をあてて改善する PAS セルフケアセラピー（PAS-Self-Care Therapy、以後 PAS-SCT）が必要です。

PAS-SCT とは、精神看護におけるこれまでのオレム・アンダーウッズのセルフケアプログラム実践を支援する技法の再体系化です。オレム・アンダーウッズモデルが依拠してきた事後性ベースの力動論に加えて、量子力学的な多元同時並行異方向的な力学的ベクトル展開をも前提とした現代的な力動論を展開している PAS 理論（小谷，2018）による技法の再編です。「最新セルフケアプログラム」で人間の無意識・前意識の衝動・欲求に焦点をあて、セルフケアの意識上の意図的過程を展開できるよう支援した後、地域での社会生活で課題となるセルフケアに焦点をあて、改善を図るため PAS-SCT を実施します。PAS-SCT は直接、患者個人に関わるだけでなく、チーム、病棟スタッフ、地域、さらには災害や医療事故等において、組織の長の決断にも関与し院内外・多職種連携チームへの介入を行う組織介入技法でもあります。

また在院日数が減り退院・地域生活が促進される中、在宅看護や在宅での看取りについての知識・技術の修得をめざします。

さらに新型コロナウイルス感染症拡大において、臨地実習が十分できなかった新人看護職への支援の方法についても検討していきます。

このようにセンタープログラムでは、看護職・高度実践看護師の実践能力および研究能力の更なる向上を目的として、下記のようなプログラムを実施します。

*1 慢性疾患患者：悪性腫瘍・心疾患・脳血管疾患・糖尿病・精神疾患など、病気と治療を管理し続ける必要性のある疾患を指します。

*2 対応困難患者：身体疾患でうつ・不安を有する患者、再燃・再発・再入院の繰り返し、重複疾患、行動化や自傷行為の繰り返し、長期入院予備軍、問題行動を繰り返す患者を指します。

四天王寺大学 看護学部 教授
看護実践開発研究センター長
宇佐美 しおり

2. 目的

本プログラムは、①状態が悪化し急性期の状態にある患者への危機介入、②慢性疾患患者のセルフケア能力の改善を目的とした直接的看護介入に関連した知識・技法の習得、③重複疾患、問題行動を繰り返し、入退院を繰り返す対応困難患者への PAS セルフケアセラピー (PAS-SCT) 介入技法の習得、④最新セルフケアプログラムと PAS-SCT 介入を事例研究としてまとめる発見型事例研究、仮説検証型事例研究の修得を目的とします。さらに、看護基礎教育や現場での教育を展開するための状況基盤型シミュレーション教育に関する教育技法、現任教育における教育技法の修得を目的とします。

本プログラムは、AコースからEコースの5コースと管理・教育プログラムがあり、A・D・Eコースは看護職全体向け、B・Cコースは経験3年以上の看護職、CNS、APN、CNS 候補生向け、Fコースは新人看護師を受け入れている看護管理者・現任教育者・看護教育者向け、Gコースは看護管理者向けとなっています。

※受講要件は特に定めていません。

3. コース概要

1) 実践能力・研究能力育成・強化編

<セルフケア能力強化編>

Aコース：欲動展開に基づく最新セルフケアプログラム ～基礎編～

受講料：38,500円、回数：1回90分×11回、定員：10名

【担当：宇佐美しおり】

Bコース：対応困難患者へのケース・フォーミュレーションと PAS-SCT 介入技法

受講料：57,750円、回数：1回135分×11回、定員：10名 【担当：小谷英文, 宇佐美しおり】

Cコース：現場に必要な実践研究能力の育成 ～事例報告から事例研究の展開～

受講料：57,750円、回数：1回135分×11回、定員：10名 【担当：小谷英文, 宇佐美しおり】

<在宅看護編>

Dコース：在宅看取りにおけるグリーフケア

受講料：9,400円、回数：1回240分×1回（同じ内容を2回）、定員：10名

【担当：小林裕美, 乗越千枝】

Eコース：在宅ケア・保健指導に活かすコーチング ～対象の意欲を高め主体的健康行動を促す技術～

受講料：11,700円、回数：1回300分×1回、定員10名

【担当：大橋純子】

2) 管理・教育能力強化編

Fコース：コロナ禍での看護基礎教育の現状から見える新人看護師の課題と対策

受講料：21,000円、回数：1回180分×3回、定員10名

【担当：福田和明, 藤原尚子, 吉川有葵】

Gコース：組織変動における看護管理者のリーダーシップ支援のための支持的サポートプログラム

受講料：9,400円、回数：1回120分×2回、定員10名 【担当：岡谷恵子, 宇佐美しおり】

3) 外部連携・研修プログラム：新型コロナウイルス感染症拡大下・災害時の看護職のメンタルヘルス介入プログラム、詳細は別途お知らせいたします。

※ 2022年4月～2023年3月（8月除く）の第3土曜日に開講します。（A～Cコース）

※ A～Cコースでは共通のテキスト（3,500円）を使用します。

※ すべてのコースは、オンライン参加が可能です。

4. 身につけることのできる知識・技術・能力

急性期における危機介入技法、急性期の状態から在宅ケアや退院を促進する在宅療養移行支援技法、さらに悪性腫瘍、心疾患、脳血管疾患、糖尿病、精神疾患の五大疾患等の慢性疾患の状態悪化予防やセルフケア能力推進に関する知識と技術を身に着けます。さらに学生や現任スタッフの効果的な教育・指導能力を身に着け、看護管理者としてのリーダーシップを強化することができます。

5. 対象者

1. 看護職

- ① 看護師等免許を持ち就労している人
- ② 専門看護師(CNS)等を持ち就労している人
- ③ 大学院生
- ④ 大学院進学を考えている人
- ⑤ 大学院修了後さらに実践・研究能力を開発したい人

2. 看護管理者

3. 現任教育、看護教育、看護研究に携わっている看護職

※受講要件は定めていません。

6. 修了証交付・履修証明プログラム証明書交付

本プログラムを受講された方には、コース毎にプログラム終了後、修了証を交付いたします。ただし、プログラムへの出席が2/3未満の方へは修了証を交付いたしません。

また、各コース（F・Gコースを除く）は、履修証明プログラムであり、A～Eコースの組み合わせの時間数（60時間以上）を修了すれば、履修証明プログラム証明書が交付されます。

【履修証明プログラムとは】

社会人の大学での学び直しを支援し、学修成果をキャリア形成に生かす観点から制定された学校教育法第105条「履修証明制度」に基づいたプログラムです。単位や学位が授与されるものではありませんが、修了すると同法に基づいた「履修証明書」が交付されます。

7. 申込み

四天王寺大学ホームページ <http://www.shitennoji.ac.jp/ibu/exten/>

生涯学習・地域連携 → 看護実践開発研究センター ～実施プログラム～ →

看護職の実践能力・研究能力開発プログラム → 当プログラムお申込フォーム

から必要事項を入力の上、お申込みください。

受付開始：令和4年1月7日（金）～

※お申込後、受付通知メールが配信されます。

「@shitennoji.ac.jp」からのメールが受信できるよう

必ずドメイン指定の解除を行ってください。



8. 受講料・振込先

□受講料

1. 実践能力・研究能力育成・強化編 A・B・C・D・Eコース
2. 管理・教育能力強化編 F・Gコース

Aコース	Bコース	Cコース	Dコース	Eコース	Fコース	Gコース
38,500円	57,750円	57,750円	9,400円	11,700円	21,000円	9,400円

□振込先指定口座

銀行名	支店名	口座種別	口座番号	口座名義
三井住友銀行	大阪第一支店	当座預金	1025037	学校法人 四天王寺学園

※振り込み手数料は、各自ご負担ください。

※講座申込者ご本人のお名前で、お振込みください。

9. 受講までの流れ

時期	内容
1月7日～3月18日	インターネットにより申込を受け付けます。
3月31日までに	受講決定通知、受講料振込みに関するメールが届きます。
4月1日～4月15日	指定期日までに受講料をお支払いください。
4月16日～	プログラム受講開始です。

10. 受講にあたっての注意事項

- 受講料の返金は原則できません。
- やむを得ない事情により受講できなくなった場合は、エクステンションセンターにご連絡ください。
- 定員に達した時点で締め切らせていただきます。なお、申込人数によっては、やむを得ず講座を開講しない場合があります。
- ハルカスビルの予定、また自然災害等により、急遽、開催日を変更することがあります。
- 新型コロナウイルス感染症防止の観点から、オンラインのみによる講義を実施する場合があります。
- 受講料等にかかる振込手数料は、受講される方のご負担となります。

11. 講師略歴(プログラム順)

◆小谷英文(Ph.D CGP GAP)

【最終学歴】

広島大学大学院博士(心理学)

【経歴】

- ・広島大学総合科学部助手
- ・文部省在外研究ニューヨークアデルファイ大学高等心理学研究所客員研究員(Visiting Professor)
- ・ニューヨーク大学 Post-Graduate Medical School 集団心理療法訓練コース終了
- ・広島大学助教授
- ・国際基督教大学臨床心理学教授、教育学科長、大学院教育学研究科科長、高等臨床心理学研究所所長
- ・国際基督教大学名誉教授
- ・PAS 心理教育研究所理事長、国際力動的心理学学会理事長(現職)

【主な活動】

- ・精神分析的な心理療法に実存心理学、システムズ理論および量子力学を加えて再構築した独自の精神分析的システムズ心理療法を体系化し、その教育、訓練、実践、研究の普及に努めている。
- ・東日本大震災、熊本地震以降の PTSD 対策、対応の実践指導と専門家養成、技法の構成研究の展開
- ・精神分析的システムズ心理療法の適用、応用の国際的普及、国際学会の運営、支援、中国中山大学に新設臨床心理学部博士課程教授陣の指導、PAS-SCT 学会の研修指導、訓練テキストの出版
- ・医師、臨床心理士、看護師、そのほかトップリダーのスーパーヴィジョン
著書: 応答構成 ガイダンスとカウンセリング 集団心理療法の現在 ダイナミックコーチング ニューサイコセラピー
現代心理療法入門 不測の衝撃 育つ心と育てる心 カオスと混沌 心の安全空間 Creating Safe Space through Individual and Group Psychotherapy 精神分析的システムズ心理療法 PAS セルフケアセラピー、他多数

【専門領域】

精神分析的な心理療法、集団精神療法、精神分析的組織心理学、心理療法訓練技法、スーパーヴィジョン
困難患者心理療法、青年期臨床、トラウマセラピー、エグゼクティブセラピー・コンサルテーション

◆宇佐美しおり(RN CNS Ph.D)

【最終学歴】

- ・熊本大学教育学部特別教科(看護)教員養成課程修了
- ・聖路加看護大学(現聖路加国際大学)大学院博士前期・後期課程修了(博士 看護学)
- ・精神看護専門看護師(CNS)認定

【経歴】

- ・日本 CNS 協議会元副代表・代表(2010-2018)
- ・PAS セルフケアセラピー(PAS-SCT)看護学会理事長
- ・日本看護系大学協議会 APN グランドデザイン委員
- ・日本看護研究学会・日本精神保健看護学会代議員
- ・碧水会 長谷川病院 CNS
- ・兵庫県立大学看護学部講師
- ・熊本大学医療技術短期大学准教授
- ・熊本大学医学部保健学科教授
- ・熊本大学大学院保健学教育部教授、大学院生命科学部教授
- ・熊本大学名誉教授
- ・四天王寺大学看護学部・大学院看護学研究科教授、看護実践開発研究センター長(現在)

【主な活動】

オレム・アンダーウッドのセルフケアモデルをもとに精神疾患患者、身体疾患で精神的に不安定な患者、ケア困難患者への看護介入技法、セルフケアモデルをさらに発展させたPASセルフケアセラピー(PAS-SCT)看護学会を設立。ケア困難患者への看護介入技法に関する理論の開発、実践、研究を進めており、同時に CNS の役割開発、効果に関する研究、慢性疾患患者の地域生活支援・災害支援における看護職の機能・役割、うつ/PTSD 予防介入プログラム、コロナ禍および災害後のうつ/PTSD 予防介入が実践できる災害人材育成に関する研究を行っている。

◆小林裕美(RN Ph.D)

【最終学歴】

- ・千葉大学看護学部卒業
- ・佐賀医科大学医学系研究科看護学専攻修士課程修了
- ・広島大学大学院保健学研究科博士後期課程修了（博士 看護学）

【経歴】

- ・国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 看護師
- ・医療法人白十字会 白十字病院 看護師
- ・ふれあい訪問看護ステーション 看護師
- ・日本赤十字九州国際看護大学 教授
- ・株式会社 在宅看護実践研究所 代表取締役（現在）
- ・四天王寺大学 大学院看護学研究科 特任教授（現在）

【主な活動】

在宅看護の実践者の方々への教育・研究に関わりながら、在宅看護の質の向上に寄与できる事業の実現をめざし、株式会社 在宅看護実践研究所を設立。研修の企画、講師、研究支援などを行っている。研究としては「在宅で終末期を迎える人を介護する家族の予期悲嘆尺度」の開発を行い、在宅で看取りを行う家族へのグリーフケアについて研究している。また、熟練訪問看護管理者の臨床判断に着目した研究を行っている。

◆乗越千枝【最終学歴】

- ・日本赤十字看護大学看護学部卒業（看護学士）
- ・東京医科歯科大学大学院保健学研究科前期課程修了（看護学修士）
- ・東京医科歯科大学大学院保健学研究科後期課程修了（看護学博士）

【経歴】

- ・日本赤十字九州国際看護大学講師
- ・鳥取大学准教授
- ・岡山大学大学院准教授
- ・日本赤十字九州国際看護大学教授
- ・梅花女子大学教授
- ・四天王寺大学教授（現在）

看護師、保健師、助産師、介護支援専門員

【主な活動】

現在、日本エンドオブライフケア学会教育研究委員として、エンドオブライフケアに向けた意思表示プロセスの支援するセミナーを実施、また、要介助者の自立支援と介護者の健康増進のためのキネステイクスに関する研究と研修を実施している。

◆大橋純子(RN Ph.D)

【最終学歴】

- ・京都大学医療技術短期大学部看護学科卒業
- ・京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻看護科学コース予防看護学分野博士前期課程修了
- ・京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻看護科学コース予防看護学分野博士後期課程修了
(博士 人間健康科学)

【経歴】

- ・大阪市役所 保健師
- ・京都府立医科大学看護学部・大学院保健看護学研究科准教授
- ・四天王寺大学看護学部・大学院看護学研究科教授(現在)

【主な活動】

認定コーチングコーチとして、企業の人材育成や病院における現任教育に必要な教育指導スキルの普及と指導者育成、および行政と連携し、保健師経験を活かした特定健診・保健指導実践者の育成に努めている。また、開発した潜在能力を引き出し、主観的QOLを高めるコーチングプログラムの地域での活用に向けた地域ボランティアの教育に取り組んでいる。

◆藤原尚子

【最終学歴】

- ・鳥取大学大学院医学系研究科保健学専攻博士後期課程(成人・老人看護学講座)修了 博士(保健学)

【経歴】

- ・大阪大学医学部附属病院、箕面市立病院 看護師
- ・梅花女子大学看護学部看護学科講師
- ・奈良学園大学保健医療学部看護学科准教授
- ・千里金蘭大学看護学部看護学科教授
- ・四天王寺大学看護学部看護学科・大学院看護学研究科教授(現在)

【主な活動】

がんに関する早期発見・治療・看護・予防への普及活動に努める。また、成人看護学分野における実践能力と研究能力育成への支援に取り組んでいる。

◆福田和明(RN Ph.D)

【最終学歴】

- ・北里大学大学院看護学研究科博士課程(クリティカルケア看護学専攻)修了 博士(看護学)

【経歴】

- ・東京医科大学病院、武田病院訪問看護ステーション 看護師
- ・神戸常盤大学保健科学部看護学科准教授
- ・北里大学看護学部看護学科・大学院看護学研究科准教授
- ・徳島文理大学保健福祉学部看護学科・大学院看護学研究科教授
- ・四天王寺大学看護学部看護学科・大学院看護学研究科教授(現在)

【主な活動】

約30年にわたり看護診断研究会を中心に、NANDA-I看護診断・看護成果・看護介入分類に関する教育・研究活動を行っている。

◆吉川有葵

【最終学歴】

- ・大阪市立大学医学部看護学科 卒業
- ・大阪市立大学大学院看護学研究科 急性期看護学専攻 修士課程 修了
- ・京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻看護科学コース 博士後期課程 修了（博士 人間健康科学）

【経歴】

- ・大阪厚生年金病院（現 JCHO 大阪病院） 看護師
- ・森ノ宮医療大学 保健医療学部 看護学科 助教・講師
- ・摂南大学 看護学部 看護学科 講師
- ・大阪市立大学 医学部 スキルスシミュレーションセンター 研究員
- ・四天王寺大学看護学部 准教授

【主な活動】

日本救急医学会認 ICLS インストラクター、大阪府医師会 ACLS 大阪認定インストラクターとして救命処置の教育、普及、指導者育成に努める。また、地域におけるイベントの救護活動にも参加。インストラクターとしての経験を活かし、演習や実習にシミュレーション教育を導入して看護実践能力の向上に取り組んでいる。

◆岡谷恵子

【最終学歴】

- ・聖路加看護大学大学院看護学研究科博士後期課程 博士（看護学）

【経歴】

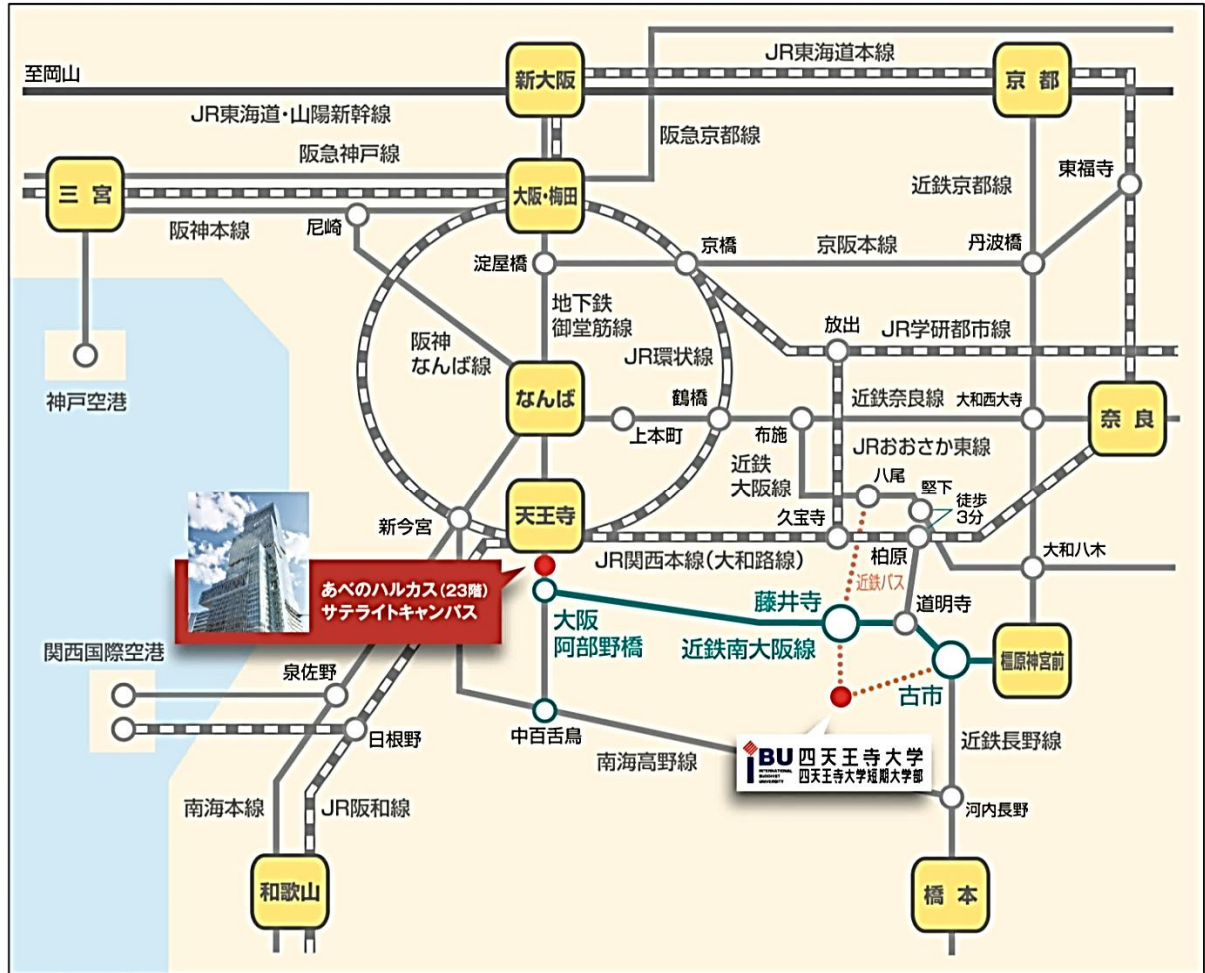
- ・公益社団法人日本看護協会 常任理事・専務理事
- ・近大姫路大学看護学部 教授・学部長
- ・東京医科大学 副学長、医学部看護学科教授・学科長
- ・一般社団法人日本看護系大学協議会 常任理事
- ・四天王寺大学看護学部教授、看護学部長（現在）

【主な活動】

日本看護協会において、専門看護師制度、認定看護師制度、看護管理者制度の創設・推進を担う。診療報酬における看護技術評価のために看護系学会等社会保険連合を立ち上げ、学会の看護技術評価活動を支援する。また、日本看護系大学協議会の高度実践看護師制度の検討にも参加し、日本における高度実践看護師の制度創設活動に携わっている。

12. 開催場所

【すべてのコース】 四天王寺大学 あべのハルカスサテライトキャンパス



〒545-6023

大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-1-43

あべのハルカス 23 階

TEL: 06-6624-9200

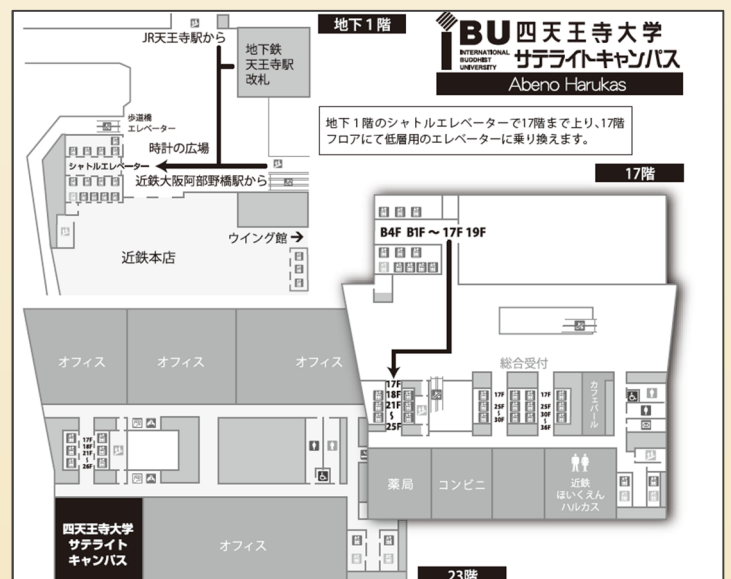
FAX: 06-6624-9201

＜最寄り駅＞

- 近鉄「大阪阿部野橋」駅西改札
- J R「天王寺」駅中央改札
- Osaka Metro 御堂筋線「天王寺」駅西改札
谷町線「天王寺」駅南西/南東改札
- 阪堺上町線「天王寺駅前」駅

申込みの問い合わせ等は 072-956-3345
(大学エクステンションセンターへ)

【あべのハルカス構内図】



Ⅲ 2022 年度プログラム内容

1. 実践能力・研究能力育成・強化編

<セルフケア能力強化編>

A コース 11:10~12:40 (90 分)

欲動展開に基づく最新セルフケアプログラム ~基礎編~

目標：慢性疾患患者（悪性腫瘍・心疾患・脳血管疾患・糖尿病など）及び精神障害者への最新セルフケアプログラム、総合アセスメントとケース・フォーミュレーションをもとに、セルフケア上の目標とケアプランをたて、事例の特徴に応じた効果的看護ケアが展開できるようになる。またセルフケア看護介入に必要な治療的援助関係が展開できるようになる。

場所：四天王寺大学 あべのハルカスサテライトキャンパス

回数	日 程	内 容
1	4 月 16 日 (土)	欲動展開に基づく最新セルフケアプログラムと治療 ～無意識の衝動から欲求、欲求からセルフケアの意図的過程へ、悪性腫瘍患者の事例をもとに～
2	5 月 21 日 (土)	最新セルフケアプログラムにおける総合アセスメント（身体・精神状態・自我・人格・成長発達・セルフケアのアセスメント） ～身体疾患でうつ・不安を有する患者の事例をもとに～
3	6 月 18 日 (土)	最新セルフケアプログラムにおけるケース・フォーミュレーション ～心疾患でトラウマを有する患者の事例をもとに～
4	7 月 23 日 (土)	最新セルフケアプログラムにおける目標とケアプラン ～精神状態の程度・セルフケア能力の程度に応じた関わり、うつ病患者の事例をもとに～
5	9 月 17 日 (土)	最新セルフケアプログラムを展開するための治療的援助関係の構築 ～介入の起点となるノーダルポイントと PEA 紐過程（思考・情緒・行為の過程）、不安をもつ患者の事例をもとに～
6	10 月 15 日 (土)	治療的援助関係の構築① ～主訴を探すグラウンドメトリックスと情緒を交流させる相互作用メンタルメトリックス～
7	11 月 19 日 (土)	治療的援助関係の構築② ～PEA 紐過程をたどるメンタライジングと共感～
8	12 月 17 日 (土)	治療的援助関係の構築③ ～心的安全空間の生成～
9	2023 年 1 月 21 日 (土)	治療的援助関係の構築④ ～介入しながらアセスメントするセラグノーシスの方法～
10	2 月 18 日 (土)	行動化（暴力・自傷行為等）など人格上の課題を有する患者へのセルフケア看護介入
11	3 月 18 日 (土)	自閉症性障害など発達上の課題を有する患者へのセルフケア看護介入

* オンラインでの参加が可能です。

Bコース 13:00～15:15 (135分)

対応困難患者へのケース・フォーミュレーションとPAS-SCT 介入技法

目標：対応困難患者（身体疾患でうつや不安、再燃・再発・再入院の繰り返し、重複疾患、行動化・自傷行為の繰り返し、長期入院予備軍等）へのPASセルフケアセラピー（PAS-SCT）におけるケース・フォーミュレーション、PAS-SCT 介入を理解・実施でき、患者の早期回復を促進できる。

*ケース・フォーミュレーションとは、最新セルフケアプログラム、PAS-SCT の組み立てを行う中心部分であり、総合アセスメントをもとに、①問題の構成、臨床事実をもとに何が問題なのかを明確にする（問題の構成）、②なぜその問題がおこってきたのか力動的成長発達、力動的視点から分析する（分析）、③どういう介入を行うとセルフケアが改善するのか（再構成）をさす。ケース・フォーミュレーションをもとに、セルフケア上の目標・ケアプランを展開する。事例の検討、ロールプレイしながら練習する。

*PAS-SCT は最新セルフケアプログラムを展開した後に、さらに地域生活上課題となるセルフケアに焦点をあて実施する。

場所：四天王寺大学 あべのハルカスサテライトキャンパス

回数	日程	内容
1	4月16日（土）	最新セルフケアプログラム ～PAS-SCT 介入起点となるケース・フォーミュレーションの理解
2	5月21日（土）	ケース・フォーミュレーションにおける問題の構成 ～臨床事実に関する問題の要素と組み立て～
3	6月18日（土）	ケース・フォーミュレーションにおける問題の分析① ～力動的成長発達の視点から～
4	7月23日（土）	ケース・フォーミュレーションにおける問題の分析② ～力動的側面から～
5	9月17日（土）	ケース・フォーミュレーションにおける再構成① ～どういう介入がセルフケアを改善するのか～
6	10月15日（土）	ケース・フォーミュレーションにおける再構成② ～介入と成果の予測～
7	11月19日（土）	ケース・フォーミュレーションを基盤としたセルフケア上の目標と ケアプラン ～患者の特徴に応じた的確なケアプラン～
8	12月17日（土）	PAS-SCT 介入技法① ～看護契約・作業同盟の構築～
9	2023年 1月21日（土）	PAS-SCT 介入技法② ～セルフケアの阻害要因を明確にする～
10	2月18日（土）	PAS-SCT 介入技法③ ～現実不安と神経症不安の明確化、情動過程の分化～
11	3月18日（土）	PAS-SCT 介入技法④ ～主訴からセルフケアの回復・修復へ～

*オンラインでの参加が可能です。

Cコース 15:30～17:45（135分）

現場に必要な実践研究能力の育成 ～事例報告から事例研究の展開～

目標：ここでは五大疾患（悪性腫瘍・心疾患・脳血管疾患・糖尿病・精神疾患など）の慢性疾患患者や対応困難患者への最新セルフケアプログラムならびに PAS セルフケアセラピー（PAS-SCT）介入を行い、発見型事例研究を学習する。学習を通じて実践を研究として展開する能力を培い、また研究能力からさらに実践能力を向上させ看護ケアの質を改善する。

場所：四天王寺大学 あべのハルカスサテライトキャンパス

回数	日程	内容
1	4月16日（土）	（発見型）事例研究とは、事例研究の進め方
2	5月21日（土）	事例報告、事例研究のまとめ方（全体の構成）
3	6月18日（土）	（発見型）事例研究 ～①はじめに、研究の背景～
4	7月23日（土）	（発見型）事例研究 ～②先行研究の検討と研究目的の明確化～
5	9月17日（土）	（発見型）事例研究 ～③介入手順と研究方法～
6	10月15日（土）	（発見型）事例研究 ～④結果の記載～
7	11月19日（土）	（発見型）事例研究 ～⑤考察と結論、ケアアルゴリズムの構築～
8	12月17日（土）	発見型事例研究から仮説検証型事例研究への展開
9	2023年 1月21日（土）	身体疾患でうつ・不安・適応障害を有する患者への看護介入に関する事例研究
10	2月18日（土）	強迫症状・強迫性障害患者へのセルフケア看護介入に関する事例研究
11	3月18日（土）	トラウマのある患者へのセルフケア看護介入に関する事例研究

* オンラインでの参加が可能です。

<在宅看護編>

Dコース 10:00～15:00 (240分)

在宅看取りにおけるグリーフケア

目標：本コースでは、在宅看取りの家族支援におけるグリーフケアの基礎知識を学ぶ。そして、訪問看護師自らのリフレクションをもとに今後の実践について議論し、それぞれのグリーフケアについて探求する

場所：四天王寺大学 あべのハルカスサテライトキャンパス

回	日程	内容
(I)	6月25日(土)	①グリーフケアの基礎知識に関する講義を行う。 ②在宅看取りの家族支援におけるグリーフケア事例の振り返りを行う。 ③訪問看護師が行うグリーフケアとは何か、討議を行う。
(II)	10月29日(土)	6月25日と同じ内容を行う。

* オンラインでの参加が可能です。

* 申込時、受講日を選択してください。

Eコース 10:00～16:00 (300分)

在宅ケア・保健指導に活かすコーチング ～対象の意欲を高め主体的健康行動を促す技術～

目標：在宅療養者や保健指導対象者がなかなか自分の病気の治療や生活習慣の改善に取り組めず困っていませんか？医療者の接し方を変えることで、対象の意欲を引き出し主体的な健康行動を起こすことができる。この研修では主体的行動変容を促すコーチング技術を修得する。

場所：四天王寺大学 あべのハルカスサテライトキャンパス

回数	日程	内容
1	7月16日(土)	①コーチングの基本知識 ②健康行動理論 ③健康行動を促すコーチングの実践

* オンラインでの参加が可能です。

2. 管理・教育能力強化編

Fコース 13:00～14:45、14:45～16:15（180分）

コロナ禍での看護基礎教育の現状から見える新人看護師の課題と対策

目標：コロナ禍での看護基礎教育の現状を把握し、看護現場に入職する新人看護師の課題とその解決策を考える。

場所：四天王寺大学 あべのハルカスサテライトキャンパス

回数	日程	内容
1	6月4日（土）	コロナ禍における看護基礎教育の現状と課題、コロナ禍での臨地実習指導
2	6月11日（土）	コロナ禍で看護基礎教育を受けた新人看護職の考えられる特性・新人看護職の育成において考えられる課題
3	7月2日（土）	ウィズコロナ社会に対応できる新人看護職育成上の課題に対する対策

* オンラインでの参加が可能です。

Gコース 13:00～15:00（120分）

組織変動における看護管理者のリーダーシップ支援のための支持的サポートプログラム

目標：コロナ禍や組織の変化でリーダーシップを発揮しにくくなっていたり、改めて自分の管理を見直したい看護管理者間で、サポートグループを実施し、ストレスマネジメントを行いながら、看護管理者としてのリーダーシップやマネジメント、自分の管理者としての管理能力を再構築する。

場所：四天王寺大学 あべのハルカスサテライトキャンパス

回数	日程	内容
1	8月20日（土）	管理者のストレスマネジメント ～リフレクションを通じて～
2	2023年 1月28日（土）	看護管理者としてのリーダーシップとマネジメント ～メンタライジングとリフレクションを通じて～

* オンラインでの参加が可能です。

IV 新型コロナ感染症拡大下・災害時の看護職のメンタルヘルス 介入プログラム～外部連携・研修プログラム～

目標：新型コロナ感染症状況下や災害でストレスの続く看護職のストレスを減らし、うつ/不安/PTSD（心的外傷後ストレス障害）を予防し、精神状態を改善し離職を予防します。さらに看護職の個人・組織に対するリスク・コミュニケーションとセルフケア能力強化プログラム、集団への介入技法を提供する。コロナ禍でストレスが続くスタッフや部下、集団への介入スキルを学ぶ。

* このプログラムにつきましては、詳細が決まり次第、ご案内いたします。

問い合わせ先：宇佐美しおり susami@shitennoji.ac.jp

回数	日 程	内 容
1	5月28日（土）	<p>●10時～12時：アフターコロナにおけるスタッフ・被災者の精神状態と対応方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) サイコロジカル・ファースト・エイド (Psychological First Aid、PFA) 2) ウイズコロナ、アフターコロナで必要とされるリスク・コミュニケーション 3) 欲動展開に基づくセルフケアと NEW LIFE DESIGN 4) 不満・不平・怒り・疲弊が強い集団・組織への介入方法 <p>●13時～16時：疲弊したスタッフ集団、怒りや不満の強い集団をどうマネジメントできるのか、チーム・部署・スタッフへの介入方法とリーダーシップ・マネジメントについて修得する。</p> <p>※1回のみでの参加ではなく継続して参加することが可能です。継続して参加することにより自分の理解、セルフケア、集団への介入技法を確固たるものにしていくことができる。</p>
2	7月30日（土）	
3	10月22日（土）	
4	12月10日（土）	
5	2023年 2月25日（土）	

 **IBU** 四天王寺大学
INTERNATIONAL
BUDDHIST
UNIVERSITY 四天王寺大学大学院
四天王寺大学短期大学部
TEL:072-956-3345(エクステンションセンター直通)
受付 9:00~17:30(日・祝を除く)

住所:大阪府羽曳野市学園前 3-2-1

和のこころを未来へ

ANNIVERSARY
学校
法人 四天王寺学園